

放射線安全フォーラム
第89回放射線防護研究会
「原子力発電所における運転の状況と原子力防災の取り組み」

開催趣旨

近年の生成 AI の急速な普及により、我々の日常生活に AI が大きく入り込んでいることを実感するこの頃ではありますが、その恩恵にあずかるということは、多大な電力を消費していることを意味し、データセンターに供給する環境負荷の低い安定なエネルギー源が求められています。急速に高まる電力需要に対する原子力エネルギーの活用のためには再稼働の推進と新增設が必要ですが、そのためには立地住民の安心、安全確保が必須の状況です。今回の放射防護研究会では、昨年末に2号機が再稼働した島根原子力発電所の状況について伺うこととし、放射線監視システム等を担当されている富士電機の青山敬氏より、線量計測等の状況や今後建設が進み稼働が予定されている3号機(ABWR)の概要についてご紹介をいただき、元内閣府本府技術参与(千代田テクノル)の野島久美恵氏より、一般的な原子力防災の取り組み状況と、島根原子力発電所における特殊性についてご紹介いただきます。また、今後の原子力の利活用における新型炉導入の期待と課題や教育研究における重要性についてコメントしていただきます。その後、ご参加の皆様を交えて、その問題点や課題について総合討論を行い、今後の原子力の利活用における課題や期待・教育研究の方向性を模索する会としたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日時、場所

日 時 : 2025年12月13日(土)13:30~17:00

場 所 : ZOOM Webinar 及び株式会社千代田テクノル本社2階会議室によるハイブリッド開催
※コロナ感染拡大防止の対策として現地参加は先着20名様に絞らせていただきます。
※参加される方は参加フォーマットにて「WEB 参加」「現地参加」いずれかを選択願います。

2. プログラム

司 会 : 高橋 浩之 氏(放射線安全フォーラム、東京大学)

講 演 :

- (1) 「島根原子力発電所の線量計測等の状況と3号機の概要について」
青山 敬 氏 富士電機
- (2) 「原子力防災の取り組みの現状(国及び島根県について)」
野島 久美恵 氏 元内閣府本府技術参与(千代田テクノル)
- (3) 「総合討論 新型炉の導入の期待・課題と教育研究について」
ファシリテーター 高橋 浩之 氏
コメンテーター 真辺 健太郎 氏(日本原子力研究開発機構 原子力安全・防災研究所
安全研究センター リスク評価・防災研究グループ)

※ 本研究会での録画並びに録音等については一切禁止いたします。

3. 参 加 費 : (放射線安全フォーラム会員は無料)

一 般 : **3,000円**

※昨今の物価上昇や運営費等の増加に伴い、誠に心苦しい限りではございますが、参加費を2,000円から3,000円へ改定させていただく運びとなりましたので、予めご了承ください。

学 生 : 無料(HP 申込時に学校名、学部・学科、大学院の場合、研究科・専攻、下一桁を除いた学生番号を記入してください。)

12月5日(金)までに、以下の口座に振込をお願いします。

振込名義が申込者と異なる場合は、必ず振込依頼人欄に申込者の名前を入力してください。

<振込先口座> 三菱UFJ銀行 虎ノ門支店

普通預金口座 0054856 特定非営利活動法人放射線安全フォーラム

4. 参加申込み: ホームページよりお申込み下さい。 <https://www.rsfor.jp>

事前登録制です。参加される方は必ず受付フォームより参加申込みをお願いいたします。上記サイトより申し込みされていない方、参加申し込みのない方は、当日参加できない可能性もございます。なお、定員に達した後、または、受付期間終了後の参加お問い合わせは、事務局までお願いします。

5. 申込期日: 2025年12月5日(金)17:00

6. 問 合 せ: mail@rsfor.jp

〔懇親会〕 プログラム終了後、現地参加者が参加可能な懇親会を、17時30分から2時間程度を予定しております。併せてご参加いただければ幸いです。懇親会参加費は別途**5,000円**です。(支払い方法は上記の口座振り込みと同様です。)

※昨今の物価上昇や運営費等の増加に伴い、懇親会参加費を5,000円とさせていただく運びとなりましたので、予めご了承ください。

以上